請　願　文　書　表

（令和７年１１月２０日
第４回市議会定例会）

受理番号	請願第３号
受理年月日	令和７年１１月１０日
件　　名	2025年度すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願
請願の要旨	・教育予算を増やし、教育費の保護者負担を減らすこと。 ・子供たちに行き届いた教育を保障するため、教職員の確保と待遇改善を進めること。 ・子供たちに豊かな放課後を保障すること。 ・子どもの権利条約の４原則（生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利）を踏まえ、子供一人一人の主体性や自由、意見表明を尊重する学校教育を行うこと。
紹介議員	酒井豊実、北島定、小黒啓子
請願者の住所、氏名	[redacted] 子どもと教育を考える浜松市民会議 代表者　小笠原　里夏　　ほか２２５３人
付託委員会	市民文教委員会



令和７年１１月１０日

浜松市議会議長　髙林　修　様

請願代表者
住　所 [redacted]
氏　名　子どもと教育を考える浜松市民会議
代表者　小笠原　里夏 [redacted]
外 2253 筆

２０２５年度　すべての子どもたちに
ゆきとどいた教育を求める請願署名

紹介議員　酒井豊実 [redacted]　北島　定 [redacted]　小黒啓子 [redacted]

【請願趣旨】

子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくることがすべての父母・保護者・市民の願いです。どの子にもゆきとどいた教育を保障するために、以下のことを請願します。

【請願項目】

1．教育予算を増やし、教育費の保護者負担を減らしてください。
① 給食無償化を実現し、安心安全な給食を提供してください。
② 就学援助制度の認定基準の緩和、支給費目の拡大をしてください。
③ 不登校生の学びの機会を確保するため、フリースクール、塾、タブレット学習などの費用を助成してください。

2．子どもたちにゆきとどいた教育を保障するため、教職員の確保と待遇改善を進めてください。
① 小学校１・２・３年生「はままつ式 30 人学級編制」、また、小学校４年生～中学校３年生「はままつ式 35 人学級編制」では、多人数学級になる場合もあるため、少人数学級になるよう改善してください。そのための下限人数を撤廃し、子どもにも教員にもゆとりがもてるようにしてください。
② 発達支援学級の学級編成基準を８人から６人に改善するとともに、国に働きかけてください。

3．子どもたちに豊かな放課後を保障してください。
① 希望する子どもたちが小学校６年生まで入会できるよう、学童保育（放課後児童会）を拡充してください。
② 学童保育（放課後児童会）の保護者負担を軽減してください。

4．子どもの権利条約の４原則（生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利）をふまえ、子ども一人ひとりの主体性や自由、意見表明を尊重する学校教育をおこなってください。
① 登下校時のヘルメット着用を子どもの意思や各家庭の考えを尊重して柔軟に対応してください。また、購入先は自由に選ばせてください。
② 授業前の「黙想」は管理優先の形式的な手段になっていて、子どもの安心感や主体性を損ねています。この指導を見直し、子どもを信頼し、自ら気持ちを整える経験を重視する指導を求めます。
③ 学校のトイレに生理用品を設置してください。